



■公益財団法人長崎平和推進協会 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 ■電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
<http://www.peace-wing-n.or.jp>

- 理事長就任あいさつ 定時評議員会・臨時理事会を開催
- 被爆70周年ナガサキ原爆写真展開催のお知らせ
- 「アジア青年平和交流事業」企画募集・公開コンペティションのお知らせ
- 平成26年度事業報告
- 祈念館だより(被爆体験記朗読ボランティア「永遠の会」、アメリカ・スペインとのピースネット、被爆70周年体験記企画展のお知らせ、原爆死没者名簿の風通し ほか)
- TOPICS! (市政功労表彰、被爆者健康講話、平和の灯のお知らせ ほか)



今年度から始まった「永遠の会」の祈念館内常駐朗読の様子
 (常駐朗読は毎週日曜日午後1時～3時に実施。6ページに関連記事)

理事長就任あいさつ

公益財団法人長崎平和推進協会 横瀬 昭幸 てるゆき



この度、皆様方のご推薦により、あらためて理事長を務めさせていただくこととなりました横瀬でございます。

私は、昭和 58 年 2 月の協会設立当初から役員となり、副理事長を 6 年、理事長を 12 年間、務めてまいりましたが、今回の改選により、気持ちも新たになるとともに、あらためて責任の重さを感じているところでございます。

長崎平和推進協会は、公益法人として高い公益性とともに、大きな社会的責任も担っており、協会の各事業を円滑に運営できますのも、会員、役員・評議員の皆様方のご理解とご協力の賜物と、心から感謝申し上げる次第でございます。

これからも、協会の基本理念である「核兵器廃絶と世界恒久平和」という大きな目標をかかげ、市民の皆様と力を合わせて、各事業の充実に力をそそいでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

最後に、協会の運営に引き続きお力添えを賜りますよう切にお願いいたしまして、就任のあいさつといたします。

定時評議員会・臨時理事会を開催しました



▲臨時理事会の様子

5月28日、長崎原爆資料館平和学習室において定時評議員会及び臨時理事会を開催いたしました。

定時評議員会では、平成26年度の協会決算が承認され、任期満了に伴う、評議員と理事、監事が選任されました。

定時評議員会終了後に開催された臨時理事会では、横瀬昭幸理事が理事長に、船山忠弘理事並びに升本由美子理事が副理事長にそれぞれ出席理事の互選によって選定されました。

平成27年5月28日以降の理事・監事、評議員の方々は次のとおりです。

(※敬称略・50音順)

【理事 24人】

(理事長)
(理事)

横瀬 昭幸、(副理事長)船山 忠弘、升本 由美子
今福 雅彦、小笠原 一弘、小川 隆明、川副 忠子、塩田 淑文、下窄 英知、
未永 浩、谷口 稜暉、中嶋 照次、中島 正徳、中村 明俊、中村 キクヨ、
中山 明子、深堀 好敏、本田 貞勝、榎 洋子、正林 克記、三浦 一太郎、
三根 真理子、芳川 孝太郎、吉田 睦子

【監事 2人】

【評議員 26人】

佐藤 宏文、山本 博貴
尼崎 正明、内田 伯、加藤 貴裕、金富 竹志、熊江 雅子、桑原 伸良、
小出 浩樹、小島 達也、財前 博、芝野 由和、下園 和仁、大安 哲也、
長澤 清子、野瀬 弘志、林田 克己、平川 茂子、船本 貴之、牧 清、
増沢 一彦、松尾 博臣、松本 健吾、水町 初江、山口 八重子、山本 正興、
渡部 明、渡邊 弘

被爆70年「ナガサキ原爆写真展」



被爆70年の原爆写真展は爆心地そばに建つ長崎原爆資料館を離れ、長崎市立図書館で開催いたします。会場の長崎市立図書館はもと新興善小学校が建っていた地、被爆者にとっては深い深いつながりがあるところです。

展示する写真は120点余り、長崎平和推進協会写真資料調査部が収集した貴重な写真ばかりです。今回の写真展はこれまでと違い、大型写真を多用し、壊滅した長崎の街を思い起こし、原爆の強力な破壊力、そして悲惨さを多くの長崎市民の方にご覧になっていただきたいと存じます。

開催期間：平成27年7月22日(水)～8月3日(月)
会場：長崎市興善町 長崎市立図書館 多目的ホール
入場料：無料
問合せ：長崎平和推進協会 写真資料調査部
電話：(095) 844-9922

アジア青年平和交流事業

「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム」 企画募集・公開コンペティションのお知らせ

今年度も、長崎県内の各大学、高専、高校などに対して、アジア青年平和交流事業「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・平和交流プログラム」というテーマで平和に関する事業企画の募集を行います。

公開コンペティションによって選抜された事業については、平和推進協会より事業運営資金を提供し、応募された事業内容に従い、実際に若者自身にプログラムを実施していただきます。

皆さまのご家族、ご親戚、ご友人などに該当する学生・生徒さんがおられたら、ぜひ応募をおすすめください。

また、応募された企画の審査については、追悼平和祈念館で一般の方にもご覧いただく形の「公開コンペティション」により9月13日(日)午後1時30分から追悼平和祈念館で行います。

1. 募集期間：

平成27年6月17日(水)～9月4日(金)

2. 募集対象：

長崎県内の大学・大学院、高専、高校、専門学校
の学生、生徒(留学生を含む)

3. 募集テーマ：

「自分たちが考えるアジアの若者同士の国際・
平和交流プログラム」

応募要項など詳しい内容は、協会ホームページ
(<http://www.peace-wing-n.or.jp/>)
または事務局☎(095)844-9922まで。



▲昨年度の公開コンペティションの様子

平成26年度に実施した事業を報告します!

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を目指し、平和への認識を更に深めていただくために、皆さまのご協力をいただきながら次の事業を実施しました。

I 平和推進事業

1 発刊事業

(1,360,140円)

会報へいわ、ブックレット「平和のあゆみ」、会員加入リーフレット等の作製・発行

2 啓発事業

(1,705,819円)

被爆体験講話者の派遣

◆平成26年度実績 1,355件 170,697人受講

【内訳】 小学校：554件 中学校：446件
高校：250件 一般：105件

被爆の実相を伝えるため、修学旅行生や市内の小・中学生などを対象に被爆体験講話を実施しました。

被爆体験講話者の派遣(県外)

◆平成26年度 10市区

福島県郡山市、千葉県浦安市、東京都品川区、神奈川県相模原市、神奈川県藤沢市、新潟県柏崎市、大阪府大阪市、大阪府八尾市、奈良県橿原市、宮崎県日向市

原爆被災の実相について知る機会の少ない県外の方々に核兵器の恐ろしさを知ってもらうため、県外10市区へ講話者を派遣しました。

また、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」に協力し、県内5市町、県外5大学へ派遣しました。



神奈川県相模原市での講話の様子

原爆被災写真パネル、ビデオ・DVDの貸し出し

【平成26年度】パネル：17件 ビデオ・DVD：188本

講演会の開催

「夢と絆」

開催日：平成27年2月7日

場所：長崎原爆資料館ホール・平和学習室

講演者：蓮池薫氏

入場者：約450人



国連軍縮週間行事

国連憲章の発効記念日である10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせ、平和意識の高揚に寄与するために、市民の皆さまのご協力のもと「市民のつどい」を開催しました。

開催日：平成26年10月25日

場所：長崎原爆資料館前階段下広場

行事：戦時食コーナー、エコ風船コーナー、折り鶴コーナー、ミニコンサート、原爆被災写真展、ポップコーン・綿菓子コーナーなど



3 調査研究費

(231,468円)

平和案内人の育成や被爆継承活動に資するため、関西圏や沖縄の平和関連施設に職員を派遣しました。

4 育成事業

(5,059,114円)

部会活動

- 継承部会
- 写真資料調査部会
- 国際交流部会
- 音楽部会

市民の幅広い参加を求めながら、会員が市民とともに平和意識を高めるために、当協会の各部会が自主活動を行いました。

アジア青年平和交流事業

県内の大学・高校生が提案した平和に関する企画を公開コンペティションで採用し、若者自身が事業を実施しました。

- 活水高等学校 平和学習部
(ふりそでプロジェクト)
- 長崎外国語大学(2014 国際交流プロジェクト
「世界の料理を食べようB級グルメ」)

平和案内人派遣事業

修学旅行生や観光客を対象に、原爆資料館や追悼平和祈念館、被爆遺構めぐりなどのガイドとして、延べ3,426人が活動しました。

【平成26年度活動実績】

		利用件数	利用者数	活動人数 (延べ)
資料館	常駐	2,442件	10,300人	1,458人
	予約	80件	3,047人	319人
碑めぐり		350件	16,485人	1,649人



平和活動支援、秋月グラント

当協会の活動趣旨と一致する活動やイベントに対して助成を行いました。

5 平和推進事業に係る人件費

(18,684,084円)

6 平和推進事業に係るその他諸経費

(3,289,101円)

II 長崎原爆資料館運営事業

(原爆資料館観覧料徴収及び受付案内業務)

(16,122,462円)

III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業

(原爆資料館図書資料整理業務)

(4,729,227円)

IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業

(211,309,655円)

(遺影の登録、証言等の収集・映像制作、海外原爆展、被爆体験記朗読ボランティアの派遣、平和ボランティア育成外国語講座、ピースネット、長崎国際平和映画フォーラムの開催 など)

V 収益事業

(18,178,636円)

原爆・平和に関する図書や平和意識啓発のためのグッズ等を原爆資料館のミュージアムショップで販売しました。

売上の一部は、平和推進事業に繰り入れました。



VI その他管理運営に係る費用

(2,195,990円)

法人の事業を管理するための委員会、理事会、評議員会等を開催する費用等に支出しました。



昨年度より本格的な活動を開始した被爆体験記朗読ボランティア「永遠の会」。今回は、「永遠の会」代表の大塚久子氏にお話を伺いました。

被爆体験を語り継ぐ「永遠の会」

代表 大塚 久子

私たちは被爆の継承を目的とした被爆体験記朗読ボランティアです。

平成24年から二年間、追悼平和祈念館主催の「被爆体験記朗読ボランティア育成講座」を受講し、被爆の実相を伝えるために朗読の研修を重ねてきました。平成26年から本格的に活動を開始し、祈念館に所蔵されている体験記を中心にテーマを決めて朗読会を開催しました。

また、今年度より「永遠の会」を組織化し、自分たちで積極的に活動することを目指し始めました。メンバーはそれぞれ、定期朗読会・外部派遣・常駐朗読・体験記発掘の四つのチ

ームのいずれかに所属し活動しています。

常駐朗読と体験記発掘は今年度からの新たな取り組みです。

常駐朗読は祈念館を訪れたお客さまに、対面式で被爆体験記を朗読するもので、実際に始める前は足を止めて聞いていただけるか不安でしたが、お客さまからは聞いて良かったとのことのお声を頂いています。

現在は、毎週日曜日(午後1時〜3時)ですが、今後実施する曜日を増やして、より多くの方に体験記を聞いていただきたいです。

「永遠の会」65人のメンバーは、被爆者が体験記に綴った被爆の実相、平和への願いを真摯にうけとめて、また次の世代に伝えられるように今後も活動していきたいと思っています。



▲祈念館内で常駐朗読をする筆者

「永遠の会」は6月5日には祈念館を見学に来た西浦上小学校の児童に被爆体験記を読み聞かせ、同7日には同館交流フロンジで朗読会を開催しました。今後の更なる活躍に期待が高まります。

世界とつながる

ピースネット

アメリカ・スペインと実施

ハーバード大学(アメリカ)

4月23日、ハーバード大学とインターネット会議システムをつなぎ、「日本と原爆」という授業を受けている学生に向けて、当協会・継承部会員である山脇佳朗氏が被爆体験を語りました。

林京子氏や原民喜氏などの文学を通して原爆について学んでいる学生からは、講話後たくさんの質問が出されました。



▲ハーバード大学とのピースネットの様子

ヒングム公立高校(アメリカ)

5月13日、当協会・継承部会員の山脇佳朗氏による被爆体験講話を実施しました。

ヒングム公立高校は、今夏に日本を訪問するため、生徒たちは事前に日本の歴史について学んでおり、幅広い質問が出されました。



▲ヒングム公立高校とのピースネットの様子

フリオ・ペレス校(スペイン)

これまで、五回にわたってリーバス・バシアマドリッド市と実施し、被爆者とスペイン内戦体験者の交流、若者同士の意見交換を通して、交流を深めてきました。

5月27日に実施したピースネットでは、長崎から、高校生一万人署名メンバーが参加し、活動報告を行いました。フリオ・ペレス校の生徒からは、これまでに学んだ内容についてプレゼンテーションが行われました。



▲フリオ・ペレス校とのピースネットの様子

今後もピースネットでは、国内外へ被爆者の生の声を発信していきます。

被爆70周年体験記企画展

『原子雲の下に生きて』を開催します

被爆70周年という節目の年を迎えるに当たり、被爆の実相を次世代に伝えるために、長崎、広島両祈念館が連携し、「子供が書いた被爆体験記」をテーマに体験記企画展を開催します。

当祈念館においては、当時の山里国民学校の児童による体験記を永井隆博士が編集し、被爆から四年後に発行された「原子雲の下に生きて」長崎の子供らの手記」を題材に、「あの子らの碑」の貴重な資料などを展示し、子供

たちが体験した戦争や原爆の悲惨さ、平和への思いを伝えます。また、開催初日の7月4日には、永井隆記念館館長の永井徳三郎氏の講演や、「原子雲の下に生きて」の寄稿者、辻本一二夫さんを題材に描いた映画「長崎の子」を上映します。

入場無料です。多数のご来館をお待ちしています。



期 間：平成27年7月4日（土）～
12月20日（日）
時 間：午前8時30分～午後6時30分
（9/1以降午前8時30分～午後5時30分）
場 所：追悼平和祈念館 地下2階 手記閲覧室
問合せ：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
☎（095）814-0055

原爆死没者

名簿風通し

5月21日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、原爆死没者名簿の風通しが行われました。

長崎市職員により一冊一冊整然と並べられ、11時2分に黙禱が捧げられた後、職員が一枚ずつ丁寧に名簿をめくりお名前に風をあてました。

風通しを終えた名簿は、祈念館の追悼空間の名簿棚に納められ、8月9日の平和祈念式典に奉安されます。



▲ 名簿の風通しを行う市職員

名簿には長崎原爆で亡くなった16万5409人の氏名や死亡日、享年が記され、平成26年8月9日の時点で166冊（うち1冊は白紙）になります。

また、広島原爆で亡くなった長崎市民ら16人分を記した「長崎市広島原爆死没者名簿」も1冊保管されています。

原爆死没者の遺影・氏名登録及び体験記募集のお知らせ

追悼平和祈念館では、原爆死没者のご遺影やお名前の登録（原則ご遺族から）を募集しています。お寄せいただいたご遺影やお名前は、長崎・広島両祈念館で公開します。

また、被爆の実相を後世に伝えるために、被爆体験記も募集しています。皆さまのご協力をお願いします。

問合せ：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館
☎（095）814-0055

平和祈念式典は祈念館でも中継します

8月9日開催の平和祈念式典は、祈念館でもご覧になれます。

当日は式典会場と地下2階の交流ラウンジを中継で結び、式典の様子を放映します。

追悼平和祈念館の開館時間について

追悼平和祈念館は8月7日から9日まで、開館時間を午後8時まで延長します。

約7万個の追悼の明かりがともる地上部の水盤も午後8時まで開放していますので、ぜひお立ち寄りください。

朝長、深堀、三田村氏へ市政功勞表彰 — 平成 27 年度長崎市表彰式 —

4月1日、ブリックホールで「平成27年度長崎市表彰式」が行われました。その中で、当協会の前副理事長であられた朝長万左男氏、理事・写真資料調査部会長であられる深堀好敏氏、継承部会員と平和案内人であられる三田村シズ子氏が市政功勞表彰を受けられました。

御三方は、平和あるいは観光の推進において、長崎市政の発展に貢献されたことにより表彰されたものです。当協会としても、受賞を心からお喜びするとともに、今後ますますのご活躍を期待いたします。

平成 27 年度 被爆者健康講話が 始まりました！

今年度も「被爆者健康講話」が始まりました。

第1回は6月18日に開催し、長崎大学原爆後障害医療研究所の高村昇教授に「明日から役に立つ健康の話」をテーマに講話いただきました。

今回は、長崎会場・五島会場それぞれに田上富久長崎市長と野口市太郎五島市長が出席され、あいさつをされました。

「被爆者健康講話」は毎月第3木曜日に開講いたします。詳しくは【問合せ】まで。

皆さまのご参加をお待ちしています。

【問合せ】

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

☎ (095) 814 - 0055

「平和の灯」を一緒にともしませんか？

小・中学生や市民が平和への願いを込めて作った約5,000本のキャンドルに明かりをともし、平和を祈るコンサートを開催します。

キャンドルにメッセージやイラストを描くこともできます。

【とき】8月8日(土)午後6時45分～8時30分

【ところ】平和公園内 平和の泉

【出演者】長崎県立盲学校、城山小学校、山里小学校、国連合唱団、龍崎鬼一郎、NAGS、長崎県オペラ協会、十八銀行混声合唱団

※コンサート内容が一部変更となる場合があります。

【問合せ】長崎市被爆継承課 ☎ (095) 844 - 3913



世界の核弾頭の数

	ロシア	米 国	フランス	中 国	英 国	イスラエル	パキスタン	インド	北朝鮮	合計
2014年 8月1日	~8,000	~7,310	300	250	225	80	100~120	90~110	<10	~16,400
2015年 6月1日	~7,500	~7,200	300	250	215	80	100~120	90~110	<10	~15,700

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)提供 <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。今年度まだ会費を納めていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。

会費納入のお願い

- ◎ 緒方 操 八万円
 - ◎ 三根 眞理子 五万円
 - ◎ 大場 三榮 三万五千元
 - ◎ 長崎平和産業奉賛委員会 一万七千五百円
 - ◎ 臼井 繁子 五千元
 - ◎ 山中 弘幸 五千元
 - ◎ 財前 博 四千四百九十円
 - ◎ 細川 敏明 三千元
 - ◎ 匿名 二万円
 - ◎ 匿名 六千元
 - ◎ 匿名 五千元
- (敬称略)

寄付者紹介

ありがとうございます

- ◎ 維持会員 1,126人
 - ◎ 賛助会員 1,47人
 - ◎ 学生会員 13人
- (平成27年6月22日現在)

会員数報告

賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。ご支援・ご協力誠にありがとうございます。